

令和 9 年度予算重点施策



令和 8 年 10 月

市川市長

基本的な考え方

以下の３つの基本的な考え方に基づき、令和９年度の予算編成を行うものとします。

市民生活

１．市民生活の安全保障

誰一人取り残さないまちを実現するため、一人ひとりに応じた切れ目のない支援を行うとともに、激甚化する自然災害や、また、長引く物価高騰から市民の生活を守り抜く「市民生活の安全保障」に取り組めます。

教 育

２．未来を拓く教育の実現

新たな「教育振興大綱」と「具体化パッケージ」に基づき、正しい日本語を学び、「言葉の力」を育むことにより、すべての人の可能性を引き出す「未来を拓く教育の実現」を目指します。

環 境

３．市民参加型の環境先進都市の実現

カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素先行地域としての取り組みを推進するとともに、資源の有効活用と循環を促進し、次世代へ豊かな地球環境を引き継ぐ「市民参加型の環境先進都市の実現」を目指します。

このことを踏まえ、令和９年度の重点施策を次のとおり定めます。

重点施策

市民生活

1. 市民生活の安全保障

安全で安心な暮らしを守る体制の整備

激甚化・頻発化する気象災害や大規模地震に備え、都市基盤や避難所環境を整備するとともに、犯罪発生を抑止に努め、安全で安心して暮らせるための対策に取り組めます。

健康寿命日本一に向けた取り組み

誰もが生涯にわたっていきいきと充実して暮らすことができる「健康寿命日本一」を目指し、すべての世代の健康づくりを後押しします。

市民活動と地域経済の活性化

まちの賑わいと活力を創出するため、地域交流の促進や文化、芸術、スポーツに親しむ環境整備に取り組むとともに、デジタル地域通貨 ICHICO の活用による地域経済の更なる活性化を図ります。

こども・子育て家庭・若者への支援

未来をつくるこどもや若者が夢や希望を抱ける社会を実現するため、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行います。

高齢者・障がい者・生活困窮者への支援

誰一人取り残さないまちを実現するため、高齢者や障がい者、生活困窮者など、個々の抱える生活課題に寄り添い、自分らしく暮らすための支援に取り組めます。

2. 未来を拓く教育の実現

学校環境の向上

質の高い教育を提供するため、学校施設や ICT 環境の整備を進めるとともに、教職員の働き方改革を推進し、こどもたち一人ひとりと向き合える環境を整備します。

生涯を通じて学び続けられる環境の提供

市民一人ひとりの人生を豊かにするため、主体的な参加と地域資源の活用を推進し、生涯にわたって学び、つながる環境を提供します。

国際社会で生き抜く力の育成

確かな国語力を土台とした読解力、コミュニケーション能力などを培うため、読書活動や小中一貫の英語教育を推進し、国際社会で生き抜く力を育みます。

個性や特性に応じた学びの提供

すべてのこどもたちが能力を伸ばすことで、自らの可能性を広げられるよう、多様な個性や特性、背景に寄り添い、ともに学び合える機会を提供します。

子育て家庭の教育に関わる負担軽減

家庭環境に左右されることなく、すべてのこどもたちが等しく学べる環境を整えるため、教育格差を解消し、教育にかかる保護者の負担軽減を図ります。

3. 市民参加型の環境先進都市の実現

カーボンニュートラルの推進

2050年のカーボンニュートラルの実現を目指し、脱炭素先行地域の先導的な取り組みを加速させるとともに、家庭や事業所などへの省エネ・創エネを促進します。

分別によるごみの減量と再資源化の促進

市民や事業者との協働のもと、ごみの分別の徹底と排出抑制を進め、持続可能な資源循環型社会を構築します。

環境に配慮した計画的な公共施設の整備

次期クリーンセンターをはじめ、環境負荷に配慮した公共施設の整備など、温室効果ガスの削減を率先して推進します。

地域新電力会社を核としたクリーンエネルギーの地産地消

いちかわクリーンエネルギー株式会社を核とした、エネルギーの更なる地産地消により、市域全体における環境面、経済面、社会面での地域内循環を推進します。

里山・里海の保全と再生

潤いと安らぎを与える貴重な自然環境を将来に引き継ぐため、本市に残る里山・里海の保全と再生に取り組み、市民が親しめる環境を創出します。